

## 原発連事務局短信 第 1101 号 2021年 6月 22日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Tel:011-777-1060、e-mail:genpaturen@gmail.com

### 明日、寿都町長と神恵内村長に核ごみ文献調査撤回 求める署名提出へ ～ 原発連から 5 人、現地から 2 人

— 寿都町長に 8275 人分、神恵内村長に 7644 人分 —

昨年 10 月、原発連が呼びかけて取り組まれてきた寿都町長と神恵内村長宛の「核のごみの最終処分場にかかわる文献調査の応募・受諾撤回を求める署名」は、いったん 3 月末で締切って提出の予定でしたが、コロナ禍で提出日が遅れてきました。今回、北海道でのコロナ緊急事態宣言解除に伴い、明日 23 日、両町村長を訪ね、提出する運びとなりました。

午後 1 時寿都町長、午後 4 時 30 分神恵内村長に提出の予定です。提出署名数は、寿都町長宛が 8275 人分、神恵内村長宛が 7644 人分となっています。提出行動には、道原発連から 5 人（原発連役員 3 人、道民医連役員 2 人）、現地から各 1 人の予定です。両町村長には、住民の安全安心と、自治体の将来を見据え、勇気をもって撤回するよう求めます。

### 北電株主総会会場前宣伝行動にご参加を！

◇日時 6 月 25 日(金)午前 9 時から 1 時間以内

◇場所 大通西 8 丁目札幌ビューホテル大通公園前一

◇行動 横断幕、ノボリ旗かけ、リレートークなど

“脱原発北電株主の会”と共同で訴えます—“泊原発廃炉”“利益は道民に還元を”“カーボンニュートラルへ石炭も原発もやめて再生エネへ転換すべき”など…

### 北海道に核のごみ持ち込みは許しません

北海道連絡会～道内自治体に「核のごみ受け入れを拒否する条例制定」要請へ

泊原発を再稼働させない・核ごみを持ち込ませない北海道連絡会（市川守弘代表、64 団体）は、6 月 19 日第 22 回全体会議を開催し、道内自治体に原発から出る核のごみ（高レベル放射性廃棄物）の受け入れを拒否する条例制定を要請する要請文を確認し合い、いま発送の段取りに入っています。（要請文は、次頁）

### 「核ごみ問題を考える北海道会議 in 寿都町」

—「北海道会議」(上田文雄 呼びかけ人代表)が寿都町でフォーラム開催へ—

「核ごみ問題を考える北海道会議」(呼びかけ人代表 上田文雄)は、コロナ禍で延期していた核ごみ問題を考える懇談会 1 回目を寿都町で開催するとし以下のような準備を進めています。

【日時】2021 年 7 月 10 日(土) 14 時～18 時 30 分、11 日(日) 9 時 30 分～12 時

【会場】寿都町総合文化センター ウイズ・コム

【プログラム】

☆7 月 10 日(土) 14 時～16 時 パネルトーク「女性が語り合う核ごみ問題と北海道の未来」

☆7 月 11 日(日) 9 時～10 時 30 分テーマ別講座(第一部)

11 時～12 時 テーマ別講座(第二部)

原発連ニュース第 333 号(21 年 6 月 20 日)を発行しました。ご一読ください。

## 原発連事務局短信 第 1102 号 2021年 6月 24 日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Tel:011-777-1060、e-mail:genpaturen@gmail.com

### 寿都町長と神恵内村長に 6月23日 核ごみ文献調査応募（受諾）撤回求める署名を提出

—寿都町長に 8275 人分、神恵内村長に 7644 人分—

既報のとおり、核ごみの文献調査応募（受諾）撤回を求める署名を、昨日 23 日、片岡春雄寿都町長と高橋昌幸神恵内村長に提出しました。（写真）この日の要請行動には、道原発連から、堀一代表委員、佐藤久志事務局長、米谷道保常任理事、道民医連の沢野天氏、岸上利光氏、地元から寿都町では幸坂順子寿都町議、神恵内村では滝本正雄氏が参加しました、

**寿都町長～「放置できない問題だ。一石投じた。適地かどうか調査が必要だ」**

署名を受理した片岡春雄町長は、「町の財政の現状では、核ごみの交付金に頼らなくても困ってはいない。核のごみの処分をどうするのか、放置できない問題だ。フィンランドやスウェーデンのような堅い岩盤地層は日本にないかもしれないが、日本でどうするのか日本式の処分方法を確立しなければならない。寿都町が、適地かどうか、鉱石の埋蔵地だし、黒松内低地断層帯もあることもわかっており、調査の結果 7～8 割方適地でないとなるかもしれない。しかし核ごみの処分は放っておけない問題だから一石投じた。しかし、その後も国会で論議されているように見えない、引き続き町では調査も論議もしていかなければならない」などと語りました。

道原発連の堀一代表委員は、署名の趣旨について、科学的合意もなく住民合意も不十分なまま、独断的に応募したことに住民の不安が高まっている。全道的にも 30 超える自治体から反対の意見書や決議、核ごみ持ち込み拒否条例なども制定されている。何より漁業や水産、観光の町・寿都にいらぬ核ごみの受け入れにつながりかねない文献調査応募は、町民の安全にも町の将来にもふさわしくない。町の長期総合振興計画にも核ごみのことは一言もない、町長が住民合意もなく独断で応募すべき問題ではない、きっぱり撤回すべきだと求めました。

**神恵内村長～「要望は理解するが、議会の結果を踏まえ、判断したもの」**

神恵内の高橋村長は、堀一代表委員から、署名の意義と文献調査受諾撤回の要請に受けた後、「皆様のご意見、要望は理解するが、村としては村議会の結果を尊重し、経産省の文献調査実施の申し入れを受け、原発に隣接する村として私の判断で受諾したもの」と答えるだけでした。

### 明日の北電株主総会会場前宣伝行動にご参加を！

◇日時 6月25日(金)午前9時から1時間以内

◇場所 大通西8丁目札幌ビューホテル大通公園前

◇行動 横断幕、ノボリ旗かかげ、リレートークなど

“脱原発北電株主の会”と共同で訴えますー“泊原発廃炉”“利益は道民に還元を”“カーボンニュートラルへ石炭も原発もやめて再生エネへ転換すべき”など…

### 明日 25 日 チェルノブイリデー 昼休宣伝行動にご参加を！

◇日時 6月25日(金)12時15分～同45分

◇場所 JR札幌駅北口駅前広場(西側出口)

◇行動 リレートーク、ノボリ掲示、横断幕、原発ゼロ基本法制定チラシ配布等

— コロナ禍緊急事態宣言解除にともない、再開します。ご協力をお願いします。 —

**6月25日チェルノブイリデー**

## **6・25全原発ゼロ！核ごみ／一宣伝行動**

**原発と人類は共存できません 原発ゼロ実現を開く年に！と声をあげましょう**

チェルノブイリ原発事故から35年2カ月目です。いまま30キロ圏内は立ち入り禁止です。福島第一原発事故は、事故から丸10年たっても約3万6千人（21年2月）の県民が避難を強いられ“ふるさと”を奪われたままです。原発と人間社会が共生できないことは明らかです。

**原子力規制委員会の審査に「合格」できない泊原発は廃炉に！**

泊原発停止から9年余。この間、電力不足はありません。規制委の審査に丸8年間も「合格」できない泊原発の再稼働は無謀です。速やかに廃炉を決断すべきです。気候変動対策が待ったなしの今日、自然の宝庫・北海道でこそ、原発も石炭火発も廃止し、再生エネへの転換が待ったなしです。

**核のゴミの地層処分に国民合意はない！寿都も神恵内も文献調査は撤回を！**

昨年11月NUMO（原子力発電環境整備機構）は、寿都町と神恵内村で核のゴミの文献調査を開始、今年3月には交流センターを設置し、対話の場も開催、最終処分地選定まで突き進む構えです。しかし、日本学術会議は、2012年9月、万年単位もの長期間、日本列島に安定した地層の確保は、「現在の科学的知識と技術的能力では限界がある」「地層処分方針の根本的見直し」が必要と回答しました。しかも寿都町には黒松内低地断層帯が走り、神恵内村地域は海底火山・積丹岳の大噴火で崩れやすく脆い水冷破砕岩が大部分を占める地域です。地質や地震の専門家から両町村とも地層処分地には全く不適地と指摘されています。多額の交付金につられて、住民の合意のないまま、両町村の新総合振興計画（ともに20年4月スタート）に一言も書かれていない核のゴミ処分場の文献調査に応募・受諾するのは無謀です。寿都町長も神恵内村長も文献調査の応諾を撤回し、政府・経産省とNUMOに調査の中止と両町村と北海道からの撤退を求めるべきです。

**市民と野党の共闘で、菅自公政権を倒し、野党連合政権で原発ゼロ実現を！**

菅自公政権の原発・核燃サイクル政策推進はすでに破たんが明白です。菅首相が、日本学術会議が推薦した会員名簿から6人の任命を拒否し、日本学術会議の独立性を踏みにじり、憲法の学問・研究の自由に反する暴挙を取り消さず、国民の不安の声に反し東京五輪に暴走しています。許せません。

今年は秋までに総選挙が行われます。市民と野党の共闘で菅自公政権を倒し、野党連合政権を樹立し、「原発ゼロ・省エネ」「再生可能エネへ転換」＝原発ゼロ基本法制定を実現しましょう。

◇日時 2021年6月25日(金)12時15分～45分

◇場所 JR 札幌駅北口駅前広場(西側)

◇主な行動 原発ゼロ基本法制定署名。泊原発の再稼働認めない署名など訴えます



4月イレブン行動（21年4月12日）



東日本大震災・福島原発事故10周年メモリアルデー

**主催：原発問題全道連絡会・国民大運動北海道実行委員会**

(〒060-0909 札幌市東区北9条東1丁目2-22 道労連内 ☎：011-777-1060, Fax：777-1061)